

第24号

SSH  
Super Science High School

緑高 SSH

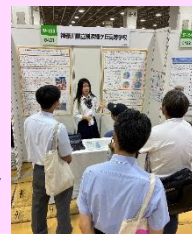
令和7年度  
夏のいろいろ

2025年10月18日



## 令和7年度SSH生徒研究発表大会(8月6日・7日)

神戸で開催されたSSH指定の全国230校によるポスター発表会に、本校を代表して3年西あおいさんが発表者として参加しました。また、1年渡邊海来さんが見学者として参加しました。西さんからは「要旨を見ただけでもわくわくするようなハイレベルな研究ばかりだったし、発表を見に来てくれる地元の学生や代表校の学生もとても反応良く聞いてくださり、2日間があっという間に感じました」との振り返りがあり、自分の発表だけでなく他校の発表からも多くの学びがありました。



## 地域交流①(8月9日)

SSH生徒推進委員会の生徒が、横浜市中区を拠点とするみんなの放課後クラブさんのイベントの企画から運営までを行いました。この日の企画内容は、「割れないシャボン玉」「塩シャーベット」の2つでした。割れないシャボン玉の仕組みなどについて、参加者にスライドを見せながら、子どもたちがわかるような表現を意識しながら説明しました。当日、放課後クラブさんが予備実験で使った材料以外の調味料を提供してくれたため、急遽新しく試すことが追加となりましたが、「なぜこの材料だとシャボン玉がより強くなるのか?」「この材料の量を増やしてみてもいい?」などと参加した子どもたちと一緒に仕組みを考え、探究しながら活動することができました。塩シャーベットについては、飲料によって想像通りの味にならないなど難しい点もあったようですが、子どもたちが笑顔になり、運営した生徒たちもほっとしたとのことでした。

## 地域交流②(8月19日)

この日もみんなの放課後クラブさんのイベントの企画・運営を生徒のみで行いました。今回は「マープリングアート」と「リサイクル写真立て」をつくりました。当日の参加者が想定より多く、てんやわんやしてしまった部分もあるようですが、地域の子もたちと楽しく交流する機会となりました。参加した生徒からは、「地域の人との関わりが深くなった」「今回の企画を通して、学校の近所にある小学校を通る際に挨拶したり、話したりなど、地域間の関わりが少し増えてうれしい」との声が出ました。

## アフリカの高校生との交流(8月21日)

パシフィコ横浜で行われた「第9回アフリカ開発会議 TICAD 横浜 2025」の科学技術振興機構と日本科学未来館主催「日本とアフリカの高校生による科学技術ワークショップ」に本校生徒1~3年生14名が参加しました。生徒たちは、日本科学未来館のコンピューターの進行のもと、「サステナブル・フード」についてのディスカッションをしました。それぞれの国特有の食べ物を紹介しながら、終始英語で交流を行い、異文化理解を深めるきっかけとなりました。



## 第27回日本感性工学会大会(9月18日)

1,2年生の希望者15名が「第27回日本感性工学会大会」に参加しました。参加した生徒からは「何を明らかにしたいか、そのためにどのような手順を踏んだか、どのような結果が出てどこが仮説と同じでどこが違ったか、今後どのように発展させていくのか等、どの発表も実験内容や結果が目的にどのようにつながっているかを詳しく分かりやすく述べていた。一方、そこが不明瞭だと質問で詳しく聞かれているという印象を受けた。」という振り返りがあり、今後の探究を進める上で貴重な時間になったことが伺えました。